

塩沢地区

育成会だより 第23号

塩沢地区青少年健全育成会

啓発宣伝部

平成31年3月10日発行



地域の子どもたちに 住みよい環境へご協力を



塩沢地区青少年
健全育成会会長
桑原 博

日頃より塩沢地区青少年健全育成会の活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

最近のテレビ、新聞の報道に、子どもたちに関わる悲しく、耳を疑うような事件が頻発している気がします。全国の児童虐待の相談件数も十三万件を超えている現実があります。相談件数の急増は即、児童虐待が増しているという訳だけでなく、通報の件数が増えていることも反映されていますと考えられます。私たちに「虐待を受けたと思われる児童を発見した場合は速やかに通報する義務があります。」通報先は市役所、児童相談所等の関係機関、又は学校で、緊急の場合は警察署でも大丈夫です。例え間違いだったとしても、通報したことが罪に問われることはありません。ここは少しお節介なお友達になっていただけると幸いです。何も無かったら良かったのではないですか。地域の子どもたちが健やかに暮らせる環境こそが私たちみんなの安心して過ごせる環境だと考えております。

子どもは家庭・地域の宝



塩沢小学校校長
富井 茂

先日、NHKで「叱れない親」の特集が放送されました。都会では、レストランやスーパーで走り回る我が子に注意できない親が増えてきているそうです。中には「お子様連れ、お断り」のレストランもあるそうです。また、「躰やマナー」を教育活動として教えている幼稚園もあると報道していました。これを見て、私は衝撃を受けました。

私が日ごろから考えている理想の家庭(躰)・親子関係を紹介します。

- 一、親と子どもとのふれあいの時間や会話を大切にします。
- 二、夫婦仲良く、家族の和合を大切にします。
- 三、頑張ったことは大いに褒め、間違ったことはしっかりと叱る。
- 四、自己決定する機会を大切にします。
- 五、親が手を出しすぎず、自分のことは自分でできる子どもにする。
- 六、スキンシップを大切にし、愛情をたっぷりかける。

学校・家庭・地域で力を合わせて地域の宝を育てていきましょう。

育成事業部の活動

部長 高橋 明夫

今年も、野鳥観察会、天文教室、チャレンジフェスティバル&しめ縄づくりを開催しました。

野鳥観察会では、学習指導センター依頼の講師や地域振興局の方の案内で、短時間に三十種類もの野鳥の姿や声を確認して驚いたり、感心したりしました。天文教室では、近い未来、行けるようになるかもしれない未知なる星について、夢を膨らませる話を聞きました。チャレンジフェスティバルでは、輪投げや剣玉等で寒い体育館を所狭しと走り回り、元気な声が溢れていました。しめ縄づくりは、稲わらのおいにつつまれ、悪戦苦闘しながらの製作でしたが、最後は立派な作品ができあがり、参加者全員が自分へのご褒美として、来年の幸せとして持ち帰ってもらいました。

各事業に参加していただいた皆さんと一緒に、楽しく和やかに交流を深め、同じ時間を共有することによって、新しい発見をすることがあります。

運営に際し、多方面にわたってたくさんの方のお世話になっていることに感謝いたします。

野鳥観察会

～坂戸山周辺～

5月12日

はじめての野鳥かんさつ

三年 関井 暁斗

ぼくは、今回はじめて野鳥かんさつに行きました。お父さんとお兄ちゃんといっしょに、朝早起きして行きました。

先生たちが、ぼうえんきょうでいろんな鳥を探してくれました。川や山の方へ行き、いろんな鳥を見たり、鳴き声を聞いたりすることができました。その中でも、青い鳥の色がきれいだったことが、一番心にのこっています。



朝早くて眠かったけれど、鳥の鳴き声をたくさん聞くことができて、すごくうれしかったです。

野鳥観察に参加して

三分区 柴田 研一

「メジロは、『チュウベエ チュウベエ チョウチュウベエ』と鳴くらしいよ。」と、いただいた野鳥手帳を見た子どもに言われ、坂戸山の野鳥のさえずりに耳を澄ませました。そして、目をこらし、野鳥の姿を追いました。今回の観察会で、私としても新鮮な体験をさせていただきました。

坂戸山とえば、高校時代から身体を鍛える所でした。音と言えば、鼓動と呼吸音。足下を見つめ、ひたすら登る。そんな場所でした。坂戸山の新たな楽しみ方を知り、身近な野鳥への関心が高まりました。誘ってくれた子どもと、素敵な体験の機会をつくっていただいた皆様に感謝しています。



天文教室

～塩沢小視聴覚室～

10月30日

最後の天文教室

六年 南雲 悠音

私は、十月にあった天文教室に参加しました。その日は天候が悪かったので、外ではなく、室中で星座などを教えてもらいました。星の話では、十月に見られる流星群について、よく見られる時間帯などを教えてもらいました。時間が余ったので、星座の他にもキノコなどの話を聞きました。食べられるキノコや毒キノコなど、たくさん教えてもらいました。外で星を見ることはできませんでしたが、室内で星のことを学ぶのも楽しいなと思いました。

チャレンジフェスティバル

& しめ縄づくり

PTA主催サポート共催事業

12月2日

チャレンジフェスティバル&

しめ縄づくりに参加して

六年 福井 路心

しめ縄づくりとチャレンジフェスに参加したのは、今回で二回目でした。

去年は講師の方々にたくさん手伝ってもらったけど、今年は一人で作ることができました。しめ縄は、妹の分と私の分ので二つできました。一つは家で、もう一つはあばあちゃん分です。おばあちゃんにあげることも喜んでくれました。今はゲームなどで遊ぶことが多いけど、昔ながらの遊びに触れることができ、貴重な経験になったと思います。



チャレンジフェスティバル& しめ縄づくりに参加して

六分区 宮 千草

毎年親子で参加しており、今回で五回目の参加となりました。

前半のチャレンジフェスティバルでは、剣玉・輪投げ・紙飛行機とばしなどで記録を競いました。特に豆移しがおもしろかったようで、「もっとたくさんつかめるようになるぞー」と盛り上がっていました。後半のしめ縄づくりでは、今までなかなかうまくできずに名人の先生に手伝ってもらいながらの作業だったのが、今回子どもたちも私も何とか一人で作り上げることができ、大きな自信となりました。毎回丁寧に教えていただき感謝です。今年も自作のしめ縄で新年を迎えることができ、大満足！ありがとうございます。

地域子ども会部の活動

部長 荒井 隆

地域子ども会部会は、例年各地区の子ども会役員から集まっていただき情報交換を行っています。

年々子ども数が減少する中で、従来どおりの行事を行えなくなっているところもあります。

地域の皆様からのご協力をいただきながら、各地区の民生委員・児童委員さんとの連携を図り、子ども会活動が活発に行われることを願っています。

また、子どもたちの安全対策として、飛び出しの危険がある場所に、「ストップマーク」の貼り付けを行い、注意喚起をしています。

さらに、子どもたちの登下校の安全のため、「子ども見守りサポーター」の活動を行っています。併せて随時サポーターの募集をしています。できる範囲でかまいませんので、気軽な気持ちでご参加いただければありがたいです。

ご協力いただける方は、いつでも小学校にお電話ください。

塩沢小学校 ☎782-0070
よろしくお願いたします。



子ども会の活動を通じて

一分区子ども会 小野塚 正和

一分区子ども会は、本年度二十名で活動を行いました。年間の行事は、春と秋の廃品回収、夏休み行事、お祭りでの子ども神輿、区の納涼会、どんど焼きへの参加などです。子ども会の活動は、必ず地域の方々にお世話になっていることを実感しています。廃品回収では、地域の方々から廃品物を出してもらわなければ成り立ちません。子ども神輿・納涼会・どんど焼きでは、子どもが参加して楽しめる企画を考えていただいています。

子ども会の活動を通して住んでいる地域を知り、人との繋がりが生まれ、子どもの成長に必要な人との関わり方を学ぶ機会になっていると考えます。

改めて、地域の皆様から子どもたちを育てていただいていることに感謝いたします。

子ども会の活動を振り返って

振り返って

泉盛寺子ども会 桑原 知美

泉盛寺子ども会は、十三名の会で、主な活動は、村内清掃、夏休みラジオ体操、夏休み行事です。

夏休み行事では、ボウリングに行

きました。初めてやる子どもたちもいましたが、楽しむことができました。お母さん方も真剣に玉を投げて大変盛り上がりました。

ラジオ体操には、毎朝ほぼ全員が参加しました。眠いのをこらえる子どもたちがかわいかったです。これがないと、きつと早起きしないので、夏休み中の生活リズムづくりによいと思います。他に、お盆に手持ちの花火大会をしました。

近くの子どもたちが集まって遊ぶのはいいことなのに、機会が少ないので、地域の皆様のご支援のおかげで、このような活動ができて、誠にありがとうございました。

地域環境整備部の活動

標語をありがとう

部長 高橋 守

本年もたくさんさんの標語を応募いただきました。ありがとうございます。

地域環境整備部による厳正なる選考の結果、本年は中区の山崎晏士さんの標語を優秀賞に選ばせていただきました。その作品は、「あいさつは みんなをつなげる まほうの言葉」です。塩沢六分区の南魚沼市塩沢公民館の大幅板に書いてありますので、近くをお通りの際には、ぜひ



ご覧ください。さて、毎年、標語を募集すると、たくさんのお応募をいただきます。少ない文字数の中に、内容の濃い作品がたくさんあります。その一つ一つを見ると、地域に広がってほしいと思う作品や、家庭内で合うてほしい作品、お互いに励まし合っているという思いが伝わる作品など、読めば読むほど心に感じ入るものばかりです。

地域環境整備部では、これからも標語を募集しますので、ご協力をお願いいたします。改めて、たくさんさんの標語をありがとうございました。

あいさつはまほうの言葉

塩沢小 三年 山崎晏士

おはようと言えば、おはようと返ってくる。こんにちはと言え、こんにちはと返ってくる。さようならと言え、さようならと返ってくる。初めて会った人でも、あいさつを

すればすぐにつながることができません。たった一言で、人と人をつなげることができるのがあいさつで、ぼくはまほうの言葉だと思っています。

あいさつをすれば、にこにこ笑顔になり、した方もされた方も心がほかほか温かくなります。

ぼくは、これからもあいさつをして、塩沢にえがおを増やしたいです。

子ども見守り

サポーターの方から

ガンバレ一年生

四分区 長谷川 英雄

思川・吉里入口のガードで、朝の見守りを始めて六年になります。この地点は、学校まで約半分弱の距離にあります。毎日、約四十から五十人の子どもたち（冬季、思川はバス通学）が通りますが、一年生には大変厳しい通学かと思えます。特に春は、転倒によるけが、体調不良等の子どももいて、症状が重い場合は、車で学校へ送り、先生に引き渡すこともあります。私の家が近くにあるので、トイレや水分補給に立ち寄りていく子もいます。冬は坂道が凍結して危険なため、融雪剤を撒くこともあります。いろんなことがあります。

すが、毎日元気な子どもたちの姿を見るのが楽しみです。体力の続く限り、子どもたちの元気な姿を見られたいと思っております。

一緒に歩いて…

気を付けたい

島新田 阿部 正廣

新聞に「信号のない横断歩道を歩行者が渡るうとしている状況で、一時停止した車が新潟県では13.8%、長野県では58.6%で全国一」との記事が載っていました。

小学生の登校の見守りをしながら通学路を一緒に歩いています。途中に信号機のない横断歩道があります。子どもたちが渡ろうとしても止まらない車、スピードを上げて通り過ぎる車が大変多いです。

運転しているときは感じませんが、歩行者の立場になると車は本当に怖いのです。車の脇1mを子どもたちは歩いています。気を付けたいものです。

編集後記

執筆者の皆様のご協力により、育成会だよりの第二十三号を発行することができました。今後も塩沢地区青少年健全育成会の活動が活発に展開されることを願っております。

啓発宣伝部長 石坂 幸子